

# 十勝岳

## 1 概況

62-2 火口は高温の状態が続いていると推定されます。噴煙活動には最近低下傾向が見られるものの、火山活動は引き続きやや活発な状態ですので、火口周辺では注意が必要です。

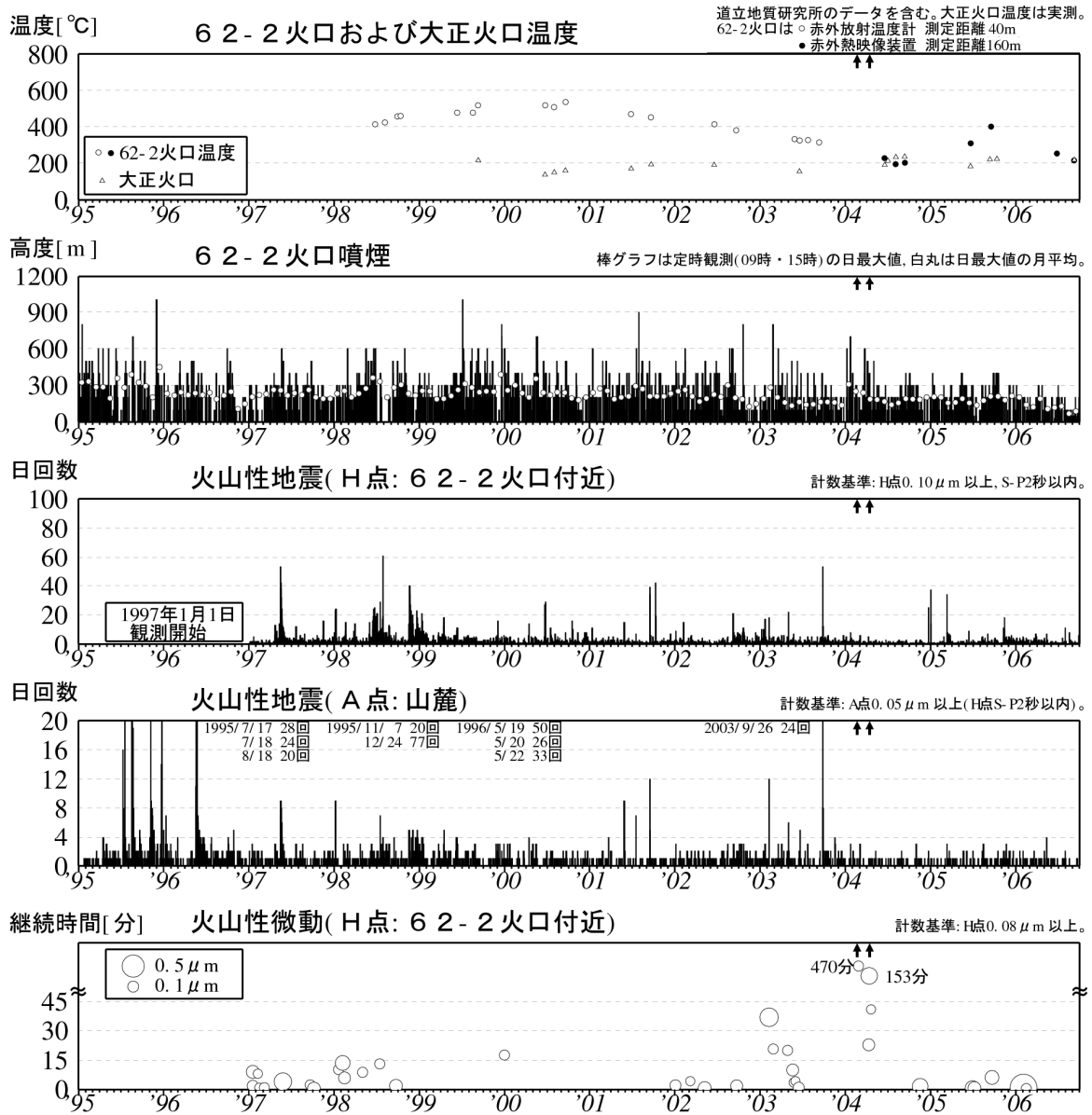


図1 十勝岳 最近の火山活動経過図（1995年1月～2006年10月） ↑印はごく小規模な噴火

十勝岳の火山活動解説資料は気象庁の他に、北海道のデータも使用して作成しています。  
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

## 2 噴煙の状況

62-2 火口の噴煙高度は概ね 100m で経過し、噴煙活動はやや活発な状態が続いていますが、本年 1 月以降低下傾向が見られます。

## 3 地震および微動の発生状況

火山性地震は、1 日あたり 0～4 回と少ない状態で経過しました。震源はこれまでと同様、主にグラウンド火口周辺の浅い所（山頂から深さ 1～3km 付近）に分布していると推定されます。火山性微動は観測されませんでした。

表 1 十勝岳 地震・微動の月回数（H 点：山頂付近〔図 2 TOKH〕 A 点：山麓点〔図 2 TOKA〕）

| 2005～2006 年 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 |
|-------------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| H 点地震回数     | 78   | 69   | 32  | 44  | 48  | 37  | 32  | 16  | 25  | 22  | 19  | 32   |
| A 点地震回数     | 14   | 9    | 6   | 8   | 10  | 4   | 12  | 3   | 6   | 2   | 2   | 4    |
| H 点微動回数     | 0    | 0    | 0   | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    |

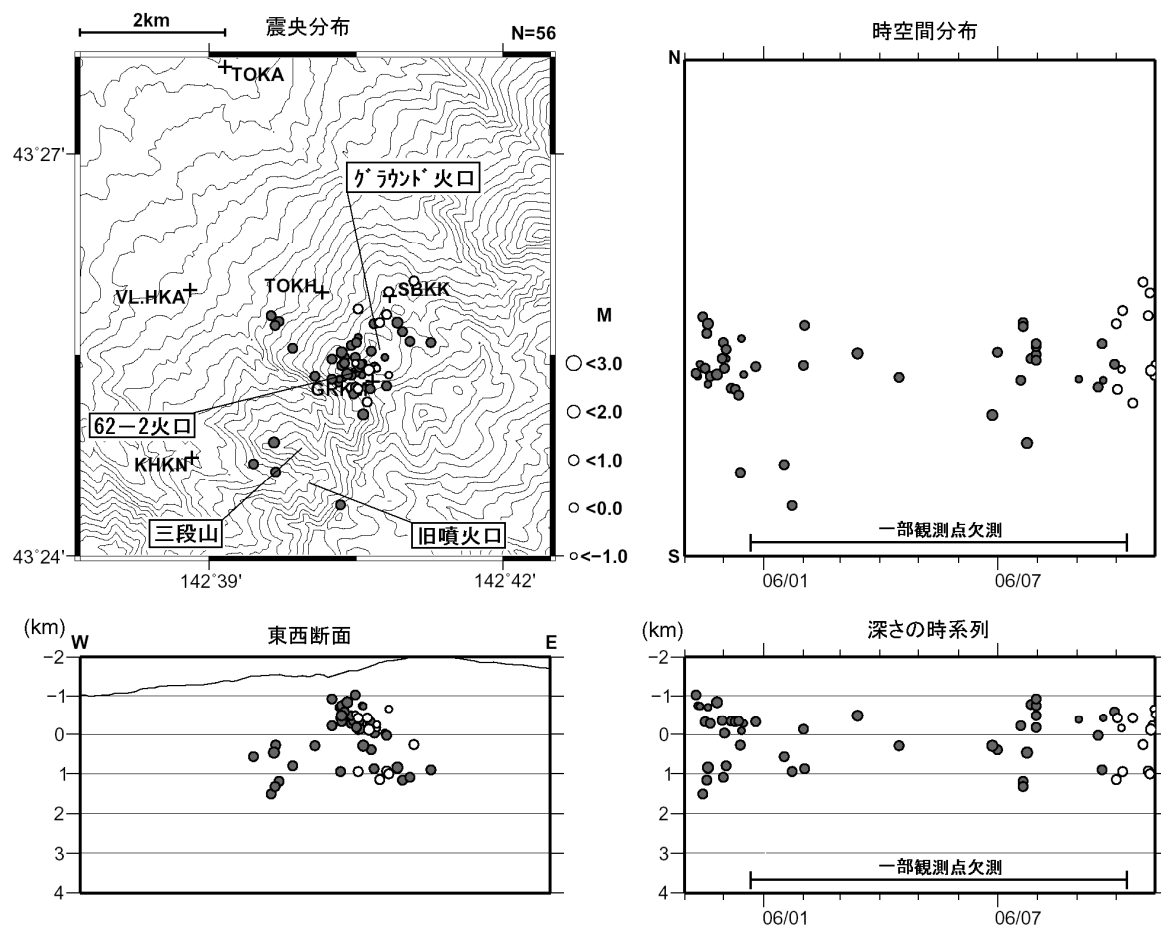


図 2 十勝岳の震源分布図

（2005 年 11 月～2006 年 10 月、+は地震観測点、気象庁と北海道のデータを使用）

○印は今期間（2006 年 10 月）に求まった震源を示しています。

●印は前期間までの 11 ヶ月間（2005 年 11 月～2006 年 9 月）に求まった震源を示しています。

※2005 年 12 月 19 日～2006 年 10 月 4 日までの間、一部観測点欠測のため震源決定能力が低下しています。

前期間までの震源はグラウンド火口周辺の浅い所（山頂から深さ 1～3km 付近）に集中しているほか、三段山～旧噴火口周辺の浅い所にも分布しています。今期間に求まった震源は、グラウンド火口周辺の浅いところに分布しています。

#### 4 地殻変動の状況

山麓における GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は観測されませんでした。

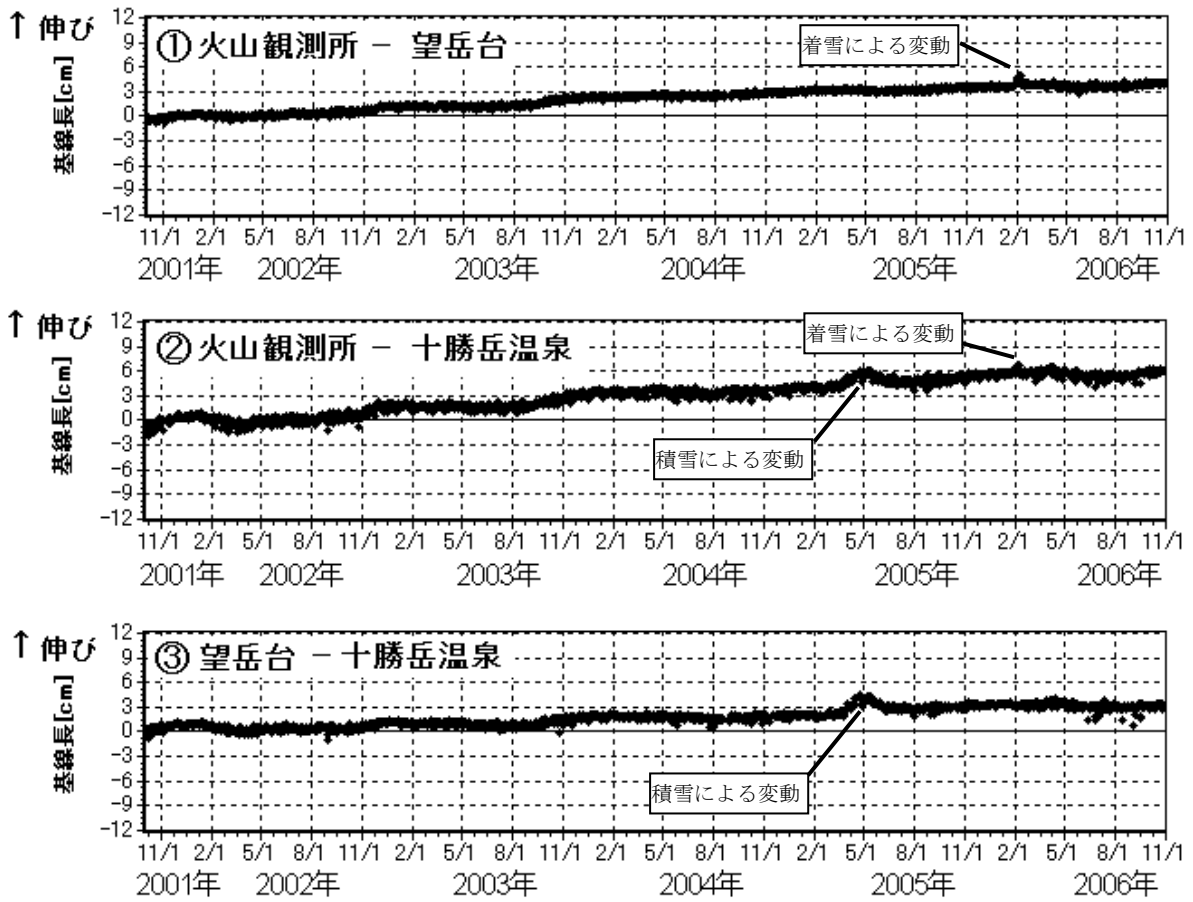


図 3 十勝岳 基線長変化（2001 年 10 月～2006 年 10 月）

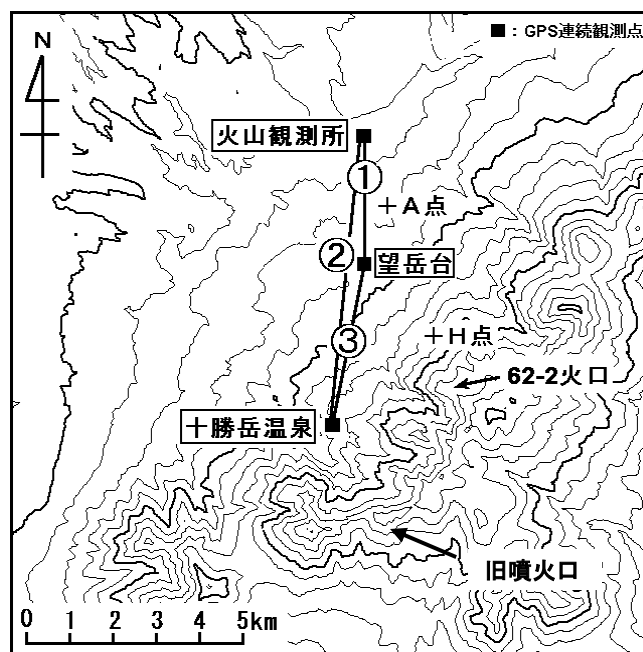


図 4 十勝岳 GPS 観測点配置図